



もしもの時に備える！

防災一口メモ

危機管理課危機対策係

44-33108

「自助」「共助」「近所」自主防災隊台帳に登録しよう

自主防災隊は、住民の連帯意識に基づいた防災訓練の実施や防災知識の普及啓発、資機材等の共同購入などを定期的に行っており、災害時には、初期消火や避難所運営情報の収集伝達などを行います。全国1,741市町村のうち、1,679市町村で、16万4,195の自主防災隊が組織され、本市では、すべての自治会で組織されています。

台帳への掲載は、強制されるものではありません。掲載ができる範囲での登録をお願いします。災害時には隣近所の皆さんとの助け合いが必要不可欠で、それらの力は、とても頼りになります。助け合える関係づくりを行うのも、もしもの時に備える重要な事柄です。

自主防災隊では、取り組みの一つとして、「自主防(自治会)台帳(個票)」の作成を行っています。これは、住民の安否確認や災害時の協力の可否、災害時に活かすことができる資格・技能者の確保、避難に支援が必要な要援護者の有無などを把握することを目的に作成されています。発災時の安否確認や避難の支援を迅速に行うだけでなく、地域住民同士の助け合いの一助となることが期待されます。

自主防(自治会)台帳(個票)

自主防(自治会)台帳(個票)		自治会		班	
		自治会番号 (記入年月 平成〇〇年〇〇月)		班番号 (記入年月 平成〇〇年〇〇月)	
班長	横井 水郎	連絡先	(0538) 43-2111 (090) 1234-5678	班員	横井 水郎
住所	横井市新堀一丁目1-1	避難先	〇〇〇〇	班員	花子
No.	1	氏名	横井 水郎	性別	男
	2	氏名	花子	性別	女
	3	氏名	一郎	性別	男
	4	氏名	善子	性別	女
	5	氏名	二郎	性別	男
	6	氏名	五平	性別	男

【作成にあたっての留意点等】

- 本台帳は、災害発生時の安否確認や資格・技能者の確保、また、防災訓練時の安否確認訓練に必要な連絡先を記載することを目的に作成するものである。
- 災害発生時の安否確認や資格・技能者の確保のため、事前に自治会長、自主防災隊長、民生委員・児童委員が本台帳を閲覧します。
- 本台帳は、個人情報保護法に配慮して自治会長又は自主防災隊長が責任を持って保管します。
- 本台帳への記載にあたっては、全ての項目について強制して記載させるものではありません。記載できる範囲内で記載してください。
- 災害発生時の安否確認や資格・技能者の確保、また、防災訓練時の安否確認訓練に使用するもので、その他の目的で使用するのはありません。

上記の事項について、承認した上で、自主防(自治会)台帳を作成し提出してください。

ふくろい歴史事典

生涯学習課文化振興係

44-231-9264

油山寺本堂(静岡県指定文化財)

遠州三山の一つで真言宗の古刹、村松の油山寺は、桃山時代の三重塔や掛川城から移築された山門が境内に建つことで知られています。境内に建つ古建築の中でもっとも高い場所に建つ本堂が今年で建立から280年という節目の年を迎えました。

油山寺本堂は、ご本尊の薬師如来坐像を安置することから、別名「薬師堂」とも呼ばれ、1739年(元文4年)に建立された記録が残っています。桁行と梁間の柱間が5間四方の建物で、正面には向拝屋根のある階段が設けられ、本堂の周囲には濡縁がめぐります。現在の屋根は1971年に銅板で「かやぶき」だった頃の姿にふき直されたものです。

堂内は、参拝者のための「外陣」と、ご本尊を安置する「内陣」に分けられており、内陣北側にあるご本尊を安置する金色の

厨子(重要文化財)が、16世紀後半期に、今川義元の供養ために建立されたと伝えられています。その厨子の両側には十二神将像など多くの仏像も安置されています。

正面で、屋根を支える柱はすべて丸柱です。柱上の出組と呼ばれる組物は、春岡の西楽寺本堂(1735年頃建立)に比べ質素で趣が異なります。難しい技術を使い、風土にあわせた建物を建てた昔の職人の工夫に思いを馳せながら訪ねてみてはいかがでしょうか。



油山寺本堂の外観